

2010 Nagasaki Grassroots Festival U-11

1 フェスティバル概要

期 日 2010年7月17日(土)～18日(日)

会 場 雲仙市百花台公園芝生広場

参加数 各都市12名の144名

内 容

今回のU-11トレセン交流会は、1日目に各都市対向の試合及び、トレーニングを行い、2日目には、6対6や4対4の試合とトレーニングを行うフェスティバル形式で実施した。

1日目のトレーニングは、各都市の技術委員長が中心となり、課題を抽出し、子どもたちのレベルに合わせたトレーニングを構築して実施した。また、2日目のゲームやトレーニング内容、選手のグループ分けなども各都市の技術委員長を中心に計画を立て実施した。



2 全体の印象

1日目は、ブロックごとに試合を行った。各都市の技術委員長を中心にゲーム分析を行い、そのチームに適したトレーニングを構築し、トレーニングを行った。サポートに県の技術委員が入り、分析から課題抽出、トレーニングの構築トレーニングと2回行った。その中で、課題として出てきたのが、動きながらのパスの質、ポゼッションや守備の課題などであった。

試合も丁寧にボールをつなごうとするチームが多く、その中でパスの質や守備、フィニッシュなど課題がより見えてきた。

2日目は、選手に適したゲームとトレーニングを行うため、グループ分けを行い、1日目のトレーニングの中から抽出しゲームとトレーニングを行った。ピッチ全体が、非常にエネルギッシュであった。

3 課題

試合全体が、ボールをつなごうとし、良いポジションを取るなかで、相手もしっかりマークする。この中で、パスをつなごうとするとボールに寄って、動きながらコントロールしないとうまくいかない。パスの出し手も正確に出さないといけない。この点においては、多くのチームが課題とあげトレーニングを行ったことから今後の課題である。また、数的優位を作り出すために、パスしたら動くことも必要である。

守備に関しては、奪いに行く意識は、チームによってばらつきがあり、もっと奪いに行く習慣を身につけさせる必要がある。

また、攻撃、守備において、周りを観ておく(観る)習慣を身につけさせることが必要である。

4 課題克服に向けて

今回、各都市の技術委員長を中心に課題を抽出しトレーニングを行った。パス&コントロールや守備、ポゼッションなど多くの共通した課題があり、そのトレーニングも行った。これらを各都市で取り組んでいくことが重要である。

5 終わりに

今回のフェスティバルは、初の試みであったが、各都市の技術委員長の協力で、ピッチは非常にエネルギッシュで素晴らしい2日間となった。1日目の夜も、子どもたちのために早朝までグループングやトレーニング等のオーガナイズに取り組んでいただいた。2日目の当日の朝に、オーガナイズの変更もしたが、素早く対応することができた。課題も多いが、次年度は、もっと素晴らしいフェスティバルとなるようにしたい。

